

本日のワークショップ

令和4年度第3回 さいたま市市民活動推進委員会

1. ワークショップのねらい

本市の市民活動と協働の

課題を解決する

「具体的な対応策」を選出します

2. 本日の流れ

全体の進行は事務局が行います。

手順	時間
(グループ) 事前課題について意見共有	12分
休憩	5分
(グループ) 付箋の書き出し	5分
(グループ) 意見共有	8分
(グループ) 対応策の選出	7分
発表	27分
シール投票／委員会として対応策の選出	11分

合計 75分

3. 対話のテーマ（問い）

《第2回で選出された対応の方向性》

- ①気楽に相談できる体制を作ること
- ②窓口スタッフの相談スキルを向上すること
- ③データベースシステムを作ること
- ④伴走型支援の体制を作ること



4つの方向性に沿った、市が取り組むべき
具体的な対応策とは？

4. 対話の手順

(1)事前課題について
対話で意見を共有し、
自身の考えをより深めます

4. 対話の手順

【手順】

- * 皆さんが持参した「事前課題資料2」をもとに
自分の意見を表明してください。
- * “対応策”と“その対応策を選んだ理由”を
共有し、自分の考えをより深めてください。



4. 対話の手順

(2)付箋の書き出しをします。

4. 対話の手順

【手順】

* 委員は(1)で意見共有をした結果、改めて市が取り組むべきと考えた具体的な対応策を付箋に書き出します。

※付箋をたくさん書き出すことは目的ではありません。より深掘りされた具体的な対応策を書き出すことを目的としています。

※意見共有した結果、事前課題で書いてきたものと同じものを記載しても構いません。

4. 対話の手順

(3)対話によって意見共有します。



4. 対話の手順

【手順】

- * 委員は(2)で書き出した付箋を、説明しながら模造紙に貼り出します。
- * 互いに質問を繰り返し、意図を深掘りします。

【ルール】

- * 似た趣旨の付箋は、近くに貼り出します。
- * 新しい発想があれば、青色の付箋に記入します。

5. 対話の手順

(4)対話によって対応策を選出する。



5. 対話の手順

【手順】

* 対話によって、市が取組むべき対応策を

1つ選んでください。

5. 対話の手順

(5)選出した対応策を発表します

5. 対話の手順

【手順】

- * グループで選んだ対応策を発表します（8分間）。
- * 発表は、グループ全員がします。
- * 発表後、質疑の時間を設けます（1分間）。

5. 対話の手順

* 発表は、

- ・ 選んだ対応策
- ・ 選んだ理由（どの点がいいか等）

を発表してください。

※その他、第8期答申への全体的な意見があれば、発表してください。

5. 対話の手順



(6)シールで投票／委員長によるまとめ

5. 対話の手順

【手順】

- * 委員は、(5)で発表された対応策について、市が取り組むべきものとする付箋にシールを貼ります。
- * 貼り出されたシールを見て、委員長が推進委員会としての対応策をまとめます。

6. 対話の心得

- * 人の話に耳を傾けることが大切です。
- * 自分ばかり話しません。
- * 頭から否定しません。
- * 楽しい雰囲気大切にします。



7. その他

- * 席次表で無作為にグループ分けしています。
- * 委員長は、各グループの進行役を指名します。
進行役は発言しやすい場づくりをお願いします。
- * 各グループで時間管理もしてください。
- * 全体の進行は事務局が務めます。